

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリー 項目番号	チェック項目	取組 レベル	【赤抜目】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （真などの取得確認があれば、併せて記載） （【赤抜目】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			採用に始まり、雇用期間においても差別することはない。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セウハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			各社員とリーダーとの連携により、仕事及びメンタル面のサポートを行っている。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.8					16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			週単位で労働時間を把握、アラートの時点で随時改善等の対応を行っている。										8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			特に制限は設けていない。			4.4							8.7 8.8	10.2 10.3						
5 人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			入社時、社屋の設備等についても説明を個別に行っている。また、安全防止のため、不具合報告を受けた都度、速やかに対応する体制を整えている。			3							8							
6 労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			社員とのコミュニケーションを大事にしており、リーダー連携により状況把握に努めている。また、不全者が出た場合は、健保組合及び民間等の相談窓口及び医療機関を紹介している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			制限は設けていない。							5.1 5.5			8.5	10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会に従業員に提供している	基本 （必須）			年間計画において、技術的なスキル研修や職制別の研修、人間力向上の研修などを行っている。また、それ以外に必要な研修があれば対象者に案内している。			4	5.5						8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			能力に応じた賃金体系を取っているため、雇用形態の差異はない。							5.5			8.5	10.2 10.3						
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			現在、TJKにて「健康企業宣言」しており、健康経営優良法人2026取得予定。健康診断受診率100%、運動・社員間交流促進の機会を作り、健康増進、生産性向上に努めている。			3							8							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			社内では、市町村同様の分別を行い、清掃センターに直接持ち込んでいる。また、産業廃棄物については、適切な処分先してくれる業者に依頼している。											11.6	12		14.1			
12 環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			電力使用量のチェックのみ行っている。										7.3			13				
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			社内の室内照明の点検を年度計より直轄課別しながら、夏〜2月迄、冬は19℃程度の設定により、適度な排気を出している。昼の遮光、定時退社日を設け、節電に努めている。照明のLED化を段階的に実施中。										7.2 7.3			12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			弊社では有害化学物質を使用していない			3.9			6.3						11.6	12.4				
項目番号	カテゴリー チェック項目	取組 レベル	【赤抜目】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （真などの取得確認があれば、併せて記載） （【赤抜目】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性及生態系に影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			ゴミの分別を細かく行ってあり、再資源出来るもの、また、悪影響を及ぼすものについて正しく廃棄処理を行っている。							6.6								15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			リユース：事務用品の共有化(余分な購入をしない)。 リユース：事務用品の再利用、印刷削減、マイ箸持参。 リサイクル：ペットボトル・空き缶の分別、新聞雑誌。													13		14.1		
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			水道料の把握を行い、水道タンク等については業者及び担当者が監視を行っている。							6.4 6.6										
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）																12.6				
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）										7.2							13			
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																12.2	13	14	15	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			接待申請書等により接待や贈答に関する基準を伝え、増収賄罪等の不正防止を促している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			コンプライアンス・ポリシーにおいて方針を掲げ、社内の社員ページ上で弊所確認が出来る体制をとり、社員意識の向上を図っている。																16	
24 公正な 事業	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			現在、自社製品における商標及び特許はない。今後、発生した場合は、法務担当及び弁護士等の協力を得て、特許侵害の調査を行い実施するような体制をとることとしている。							8.2 8.3	9									
25 公正な 事業 慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			マイナンバー及び個人情報に関する部分の情報は、鍵のかかるスペースへの保存及びパスワード設定を徹底している。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			社屋設備等や備品購入の際に、紛争鉱物不使用でないかホームページ等で確認している。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）						5			8			10			12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5〜追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			【予定】 「パートナー構築宣言」を作成・公表予定			3			8	9	10									17

[illegible][illegible]

【取組留意事項】

○「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組も予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取組も含むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

○【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

○「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際規格、県、市町村等の認証・認定等）を取得している場合は、できる限り、その旨を併せて記載してください。

（※掲載にあたりアフラ・ダンカンバー一級認証制度、女性の活躍推進企業認知表彰、男女共同参画推進国際会議、国・県・市町村の優良企業等表彰、信州豊かな環境づくり県民企業表彰、長野県社会評価認定制度、NAGANOものづくりエクスレックス認定、信州福祉事業所認証、評価制度、信州リサイクル県民認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県農産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぽし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県木材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制など）

○この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○SDGsとの関連については、各項目について69のターゲットに直接的に当てはまるものは異なり、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載。
○企業が申し入る際には、チェック欄のチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定